

キタジマの SDGs への取り組み



■SDGs とは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

■キタジマの想いと SDGs

当社は、知名度の向上とブランディングを行うこと、お客様や地域社会からの信頼度を高めるために、循環型社会の実現と、事業工程で発生するCO2削減の実現と循環型社会を実現するプラットフォームの構築を目指し、持続可能な地球環境維持のために、環境問題解決と社会貢献を目指します。

ゴミと資源の総排出量を削減し環境負荷の更なる低減を図ることで、豊かな環境を後世に引き継ぎ、子どもたちが将来に「夢」をもつ事のできる社会を実現すると共に、神奈川県内の企業である当社がゴミの管理の「お手本」となることで、地域経済の発展と環境保全に繋がる事業を展開していくことを目標としております。

持続可能な社会の実現と美しい地球環境の保全のために、今後も引き続き、サステナビリティに配慮した誠実で責任ある事業活動を行うとともに、環境システム活用により、廃棄物の発生データを具体的な指標・数値を用いて可視化し、「SDGs 経営促進」を実践しています。

■キタジマのSDGsへの取り組み

(1) 経済への取り組み



国が推奨している3R政策のリデュース、リユース、リサイクルの順番で事業に取り組み、廃棄物の処理事業経費が2兆円を超える中、資源再生することで、処理事業経費を削減し、環境と経済が両立した「循環型社会」を実践しています。

(2) 社会活性化への取り組み



人口・経済の成長に伴って、資源の需要や廃棄物の発生量が増加する中、より多くの廃棄物をリサイクルすることで、社会に還元し一日でも早い「循環型社会」を目指している。また、ゴミと資源の総排出量を削減し、環境負荷の更なる低減を図ることで豊かな環境を後世に引き継ぎ、子どもたちが将来に「夢」をもつ事のできる社会の実現を実践しています。

(3) 環境への取り組み



環境システム活用により、ゴミの現状把握と廃棄データの分析・活用を行い、廃棄物処理におけるCO2発生量を可視化し、廃棄物排出量の削減、低騒音型重機の効率的運用が可能となり、廃棄物処理に必要なエネルギーを削減でき、CO2発生量の低減を行っています。



循環型社会の実現

SDGs ゴールの達成